

企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ はやぶさ2・527号 2021年12月03日(金)

※末尾に Captain 平本著作の「理念経営実戦のすすめ」を無料（送料 100 円だけご負担ください）でプレゼント！しています。

<http://c.bme.jp/18/4050/1088/9>

◆◆緊急告知！◆◆

～～ゴールするまで寄り添います～～

アフターコロナで激変する時代。 地域・業種 NO.1 をめざす企業家の皆様へ。
「伴走型」経営支援を成功報酬契約で挑戦いたしませんか！！

「モニター企業」を募集しておりますので、お問合せください。
動画でご案内しております。ぜひ、ご覧ください

<http://c.bme.jp/18/4050/1089/9>

__cO__ 様

4回シリーズ 企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ

第1回 社長が暴力団と食事したツケ

第2回 コロナ禍にヤクザに乗っ取られた病院の末路

★第3回 暴力団が「コロナ不況」の企業を食い荒らしている

第4回 Captain 平本の「リスクは、自分の心の弱さが呼び寄せる」

＊＊毎回。Captain 平本の「ワンポイント・コメント」付記

◆著者、竹花氏のご紹介

・「手書きソフト」の分野では、NO,1 企業の創業オーナー経営者です。

ランチェスターに熟達した実践者で、石田梅岩の「心学」の造詣も深い企業家です。

<http://www.penplus.jp/profile.html>

=====

第3回 暴力団が「コロナ不況」の企業を食い荒らしている

著者：八起会 代表
竹花 利明

八起会の代表を務めております、竹花利明です。

八起会は、1978年に世界初の「倒産者の会」として野口誠一会長が設立されました。

八起会：<https://yaokikai.com/index.html>

野口会長が2016年に亡くなられた後、

倒産経験がないものの私がこの会を引き継ぐこととなりました。

*その八起会は、毎月第3土曜日の18時から、毎月「月例会」を開いています。

その中で、本年8月21日に開催されたテーマは、

「暴力団との会食で倒産した会社」でした。

3つの事例を研究しましたが、その事例を3回に分け1つ1つ説明させていただきます。

今回、第3回目のテーマは、

暴力団が「コロナ不況」の企業を食い荒らし始めた。

警視庁“元マル暴刑事”が警告！」

元記事：<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/77050>

【元記事より】①

コロナ禍のいま（中略）反社会的勢力は、

経営難に陥った企業に何らかの働きかけをしてくるのではないかと危惧している。

不況が怖いのは失業者や倒産企業が増えることだけではない。

善人面した反社会的勢力が、救済を装って近づいて来ることだ。

狙われるのは、決まって窮地に陥っている中小企業である。

前回は、経営が窮地に陥った病院が、反社に喰われていることを説明した。

これは病院に限ったことでなく、すべての企業に存在する隠れたリスクである。

著者の櫻井氏は、41 年間「元マル暴刑事」。 現在はその経験を活かし、企業に対してその取引先の反社会的勢力の関与や対策をコンサルしている。

【元記事より】(2)

(反社は) ビジネスに進出して巧みに金を稼いでいる。
アワビやカニ、ナマコなどの高級食材を狙い、タピオカドリンクにも進出。
彼らは罪を犯すことを辞さず、また暴力をちらつかせ巧みに、企業から資金を絡めとる。

いわゆる「経済ヤクザ」が、現在でも横行している。
暴対法により、過去のような稼ぎができなくなったゆえに、より、そのやり口が狡猾になっているのであろう。

【元記事より】③

公共事業の建設現場。
談合の現場にも反社会的勢力が関与していることがある。
中小零細の建設会社を 10 社ほど集めて、談合をヤクザが取り仕切る。
反社会的勢力はその中心に立って入札を差配する。

公共事業を受ける場合、どうしても安売り合戦になりやすい。
他社できない技術やコスト削減法があれば良いのだが、
そうでない場合、利益が薄くなったり、場合によれば赤字に陥る。
これを避けるための「談合」は、以前から行われていたのだが、ここにヤクザは目をつけている。

【元記事より】(4)

「今回の仕事は A 社に任せる。

B社は次に仕事を取らせるから、今回は協力してくれ」

こうした談合はれっきとした犯罪で、一度関与すると企業は抜け出せなくなる。

やがて社長は、いつか談合に手を染めたことが明るみに出て逮捕されるのではないかと不安に駆られたようになる。

ヤクザに談合グループの脱退を申し出ても

「今まで、あなたがやったことを公にさせてもらう」と言われる。

しかし、早晚、談合の悪事は警察の知るところとなる。

社長の逮捕で会社は倒産の危機に瀕する。

江戸時代の商人道の開祖である、石田梅岩は次のような言葉を残している。

「二重の利を取り、甘き毒を喰ひ、自死するやうなこと多かるべし。」

不正な利益は、身を滅ぼす元になるということだ。

公共事業が安い利益しか生まないのならば、民間事業に乗り出すなど、経営改善の努力が必要となる。

【元記事より】(5)

経営難に陥った会社は、美味しい儲け話に飛びついてしまい、それが反社に足元を見られる大きな原因となる。

反社の多くはコンサルを装い近づいてくる。

会社も平時なら相手にしないだろうが、尻に火が付いた状態ではついつい話を聞いてしまう。

「経営コンサルタントは怪しい仕事だ」と言われることがある。

わが八起会の会員の中にも、「コンサルの言われるがままに経営した結果、会社を潰す羽目になった」会員がいる。

こちらは「2度の倒産を乗り越えた体験談、那須野会員」として、八起会 HP に掲載されているので、興味があればご覧いただきたい。

<https://yaokikai.com/instructor.html>

那須野会員がであったコンサルは反社ではなかったが、コンサルとお付き合いする場合、安易に信じてはいけないということだ。

【元記事より】⑥

「それなら試してみよう」と軽い気持ちで付き合いをはじめ泥沼にはまり込む。
相手がヤクザと気が付いたときは、もう遅い。
「もう俺たちは一蓮托生なんだ」。社会的信用を落としたいくない。
そんな当然の思いが、反社に付け入るスキを与えてしまう。

心のスキをつくのが、悪人や詐欺師の常套手段だ。
八起会・野口誠一会長は、
「倒産は、経営者の心の甘さから始まる」と言われておられるが、その通りなのである。
甘い考えが、社員や取引先、その家族を含めて、多くの人々を不幸にする可能性があることを、責任ある経営者は理解すべきである。

~~~~~  
◆この事例から学ぶべきこと＊Captain 平本のコメント③◆

・江戸時代から、同じような事が続いていることは、石田梅岩の言葉でも分かります。  
野口会長の教えのとおりで、自己責任の覚悟が足りないのであるが、分っていても困難に負けてしまうのである。

そして、「元マル暴刑事」の著者の櫻井氏は、41年間の経験を活かして社会貢献をなさっていますが、こうした「駆け込み寺」的な役目をもっと知られてほしいと願います。

・「君子危うきに近づくず」なのだが、空腹のあまり毒があるかもしれないと思いつつ食べてしまう。  
そこには、倒産に対する罪悪感と、社会の目が気になって誘惑に負けてしまうのである。  
倒産は意図的・詐欺的でなければ、交通事故のようなものなのである。  
自分が正常に運転していても、もらい事故や、予期しない出来事で時には人身事故さえ起こすのである。

・それでも、状況によるが家族に及ぶことはないし、社会復帰も出来るのである。

こうした、社会文化を創ってまいりましょう。  
櫻井氏や八起会の存在をもっともっと知ってもらいましょう。

- ・次回には、私の経験を通して私見を述べさせていただきます。  
「リスクは、自分の心の弱さが呼び寄せる」防止するには・・・

今回のテーマは以上となります。  
お読みいただき、ありがとうございました。

~~~~~

＊理念営実戦のすすめ」特価（100 円）で販売
<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

ご愛読ありがとうございます 著者：(株)I&C・HosBiz センター
Captain 平本 靖夫

プロフィールは
<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

【1】 #526号・・・21・11・26(金)・・・バックナンバー  
[https://rinenkeieishi.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php)・・・【要】確認

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を持続いたしますので、重ねてご支援ご鞭撻を
よろしくお願いします。

◆次号 第528号 21・12・10(金)は、
4回シリーズ 企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ
第4回 Captain 平本の「リスクは、自分の心の弱さが呼び寄せる」防止するには・・・
50年に渡る経営支援の経験から・・・

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本 靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・（株）I&C・HosBiz センター 執行役員
マーケット・クリエーター(MRC)・・・CSA 開発推進責任者
・プロフィール

<http://c.bme.jp/18/4050/1097/9>

◆Facebook

<http://c.bme.jp/18/4050/1098/9>

<http://c.bme.jp/18/4050/1099/9>

◆◆緊急告知！◆◆

～～ゴールするまで寄り添います～～

アフターコロナで激変する時代。

地域・業種 NO.1 をめざす企業家の皆様へ。

「伴走型」経営支援を成功報酬契約で挑戦いたしませんか！！

「モニター企業」を募集しておりますので、お問合せください。

動画でご案内しております。ぜひ、ご覧ください

<http://c.bme.jp/18/4050/1100/9>

◆お問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本 靖夫、 編集長：岩下 一智 MRC

*配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

<https://e.bme.jp/bm/p/f/s.php?id=kazu&mail=kazuzohan%40gmail.com&no=9>

...